

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（25）」

2. 日時：令和5年9月6日（水） 10時00分～11時55分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審
査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他8名

（このうち4名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価について（追加補足説明資料）

〈〈本年8月17日に受取済み〉〉

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価について

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁地震津波のスズキですそれでは玄海原子力発電所の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価。
0:00:10	やっぱりまとめ資料ですねそれと、
0:00:13	あと補足説明資料が、
0:00:16	これ 8 月 17 日、受けていただいてまして阿藤追加補足説明資料を本日 9 月 2 日付けでお持ちいただいておりますので、
0:00:25	内容としてはまとめ資料と多分それをもう少しテキスト補正案にしたものということなんで、通して説明いただくということで、
0:00:35	まずは九州電力の方から説明をお願いします。
0:00:40	はい。九州電力の野々村です。本日はよろしくをお願いします。
0:00:44	まず資料ですけれども先ほどご説明いただきました通り、資料番号TPG036 の限界の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価についての取りまとめ資料、それから、
0:00:57	資料、資料番号TTG-037 と、本日提出させていただきましたTT041 で、審査を踏まえました今後の補正申請に関する補足説明資料、
0:01:08	の三つの資料をご説明させていただきます。説明の流れとしてはまず、TT06 の取りまとめ資料をご説明した後その後、TT037PT041 で、
0:01:19	補正申請に関してご説明させていただきます。
0:01:23	よろしくをお願いします。まず、T036 の取りまとめ資料についてご説明させていただきますけれども、こちら取りまとめ資料につきましては 6 月 16 日の 1160 回審査会合、
0:01:37	の前の地下構造モデルの設定及び大井地震アノ資料を、今回、標準応答スペクトルを考慮した地震動に関する一連の資料として取りまとめしております。
0:01:48	取りまとめに当たりまして説明性向上のため記載の充実等を行ってございますので、変更点についてご説明させていただきます。
0:01:56	4 ページの方をお願いいたします。
0:02:01	4 から 9 ページでは今回の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価の流れを追加して記載の充実を図ってございます。
0:02:10	まず、5 ページ、6 ページをお願いします。
0:02:14	設置許可基準規則解釈別記 2 の改正の概要を示しております、全国共通に考慮すべき地震動として、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価が求められたことを記載してございます。
0:02:27	次 7 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	こちらに基準地震動策定のフローを追記し、標準応答スペクトルを考慮した地震動を今回の検討対象とわかるように記載をしています。また、フローの下に※12 と記載していますけれども、
0:02:44	標準応答スペクトルの地震動評価に当たり、既許可から変更した内容についても記載を補足しています。
0:02:51	まず※1 につきましては基準や、審査ガイドの改正により、Mw6.5 未満の内陸地殻内地震の 14 地震の例示が削除され、
0:03:02	全国共通に考慮すべき地震動として留萌の地震及び、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価が求められたことを踏まえまして、この二つで評価を実施する旨を記載しています。
0:03:14	また、既許可において震源近傍の観測記録に基づき応答スペクトルが設定された既往の知見として加藤ほか 2004 も震源を特定して策定する地震動の
0:03:24	検討対象としておりましたが、標準応答スペクトルが、加藤ほか 2004 を上回ることから検討対象から除外した旨を記載しています。
0:03:34	※2 では、既許可からの震源を特定せず策定する地震動の基準地震の策定の見直しについて記載を補足しております。
0:03:44	既許可ではSs4Ss5 について、Ss1 から 3 と比較して一部の周期体を超えることから、基準地震動として策定しておりましたが、
0:03:55	今回の審査にあたり、Ss1 と比較する方針に見直しております。
0:03:59	今回の法線方針変更を踏まえても既許可の判断に影響はなく、駅基準地震動Ss4Ss後は強化時と同一のものとなっております。
0:04:09	8 ページをお願いします。
0:04:13	こちらに基準地震動の最大加速度の一覧を示しておまして、既許可のSs1 からSs後に今回標準応答スペクトルを考慮した地震動を基準地震動として検討する旨を、7 ページ同意を示しています。
0:04:28	9 ページ。
0:04:29	お願いします。標準応答スペクトルを考慮した地震動評価の流れと、本資料の対応を示しています。
0:04:37	10 ページ以降に地下構造モデルの設定についてとなります。11 ページをお願いします。
0:04:44	11 ページには四つ目のポツで地震基盤相当面をVs2200 メートルパーセック以上の層に設定する記載を追記しています。
0:04:55	すいません、少し飛びますけれども、88 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:02	標準応答スペクトルをモデルの設定のページになりますけれども2ポツ目に、地震基盤相当面をVs3100メートルパーセックの宗常務に設定する記載を追加してございます。
0:05:13	また、※で地震、地盤減衰の見直しにより、解放基盤表面の地震動レベルは、10から20ガル程度を増大すると、地下構造モデルの説明では記載してたところ、
0:05:26	1160回審査会合で、実際にご説明しましたけれども、茂木派の資料の方で実際に検討した結果を示しておりましたのでそちらに記載を置き換えてございます。
0:05:38	100ページを、105ページをお願いします。
0:05:43	105ページは複数の方法による模擬地震はを比較し、解放基盤表面の地震はを選定する方針を示してございます。
0:05:51	強震部の継続時間について川内の審査を踏まえましてLAN水槽を用いた模擬地震は、及び観測位相を用いた模擬地震はの最大加速度の値を参照し、
0:06:02	0.5倍を目安として振幅値を定めた旨を記載を充実してございます。
0:06:09	1108ページをお願いします。
0:06:15	こちらは衛藤超過確率の参照になります。震源を特定せず策定する地震動として加藤ほか2004を検討対象から除外しましたので超過確率の参照から削除してございます。
0:06:28	また、3ポツ目に熊本地震等の地震活動によるキクカワの確率論的は、地震ハザード評価の影響を確認し、影響下の一応ハザードスペクトルを用いるとのことの、
0:06:39	用いることを確認した旨を記載してございます。
0:06:45	熊本地震等の地震活動による既許可の確率論的地震ハザード評価への影響につきましては、仙台の審査資料と同様に、180ページから補足⑧として追加せ、追加してございますので、
0:07:00	こちらについてもご説明させていただきます。
0:07:03	181ページをお願いします。
0:07:08	既許可における確率論的地震ハザード評価の概要を示してございます。確率論的地震ハザード評価は内陸地殻内地震を対象に、特定震源モデル、
0:07:18	及び領域震源モデルを構築しハザード評価を実施しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:23	特定震源モデルは一つの地震つまり活断層による地震を対象として、1 規模、頻度を特定して扱うモデルで、1 規模、及び頻度は調査や各種文献をもとに設定してございます。
0:07:35	対象とする地震は敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による検討用地震とその他の地震として敷地から 100 キロ程度以内の周辺活断層を考慮してございます。
0:07:47	熊本地震の震源である二川日奈久断層体は敷地から 100 キロ以上離れていることから影響がないため考慮してございません。
0:07:55	領域震源モデルは広がりを持った領域の中で発生する地震群としては、取り扱うモデルになっております。
0:08:02	許可では領域の区分としては萩原や垣見他による区分を考慮しております。領域の地震規模等は、地震発生頻度は気象庁カタログに基づき設定し、
0:08:15	最大マグニチュードについては気象庁カタログ等に基づき設定しております。
0:08:21	今回、既許可以降に発生した 2000、16 年熊本地震等の活動により、既許可の確率論的ハザード評価に影響ないことを確認するため、最新の気象庁カドイに更新し、
0:08:35	特定震源モデル及び領域震源モデルのそれぞれについて確認を実施しております。
0:08:43	182 ページをお願いします。
0:08:45	まず、特定震源モデルの確認になります。
0:08:50	キクカワ以降、玄海原子力発電所周辺で発生した地震のうち、活断層との関係が明らかな地震は熊本地震のみとなっております。181 ページでご説明した通り熊本地震の震源である二川日奈久断層体は、
0:09:03	敷地から離れていることから考慮していないため、特定震源には影響ございません。
0:09:10	次に領域震源モデルですけれども、気象庁カタログを最新のデータに更新し、萩原垣見他の領域における年発生頻度を更新して、影響を確認しております。
0:09:20	評価対象領域であります萩原の領域、N、及び垣見他の領域 11x0 で、2016 年熊本地震が発生しておりますが、
0:09:31	熊本地震は特定の活断層による地震であることが明らかであるため領域震源モデルには考慮しておりません。
0:09:38	領域震源の影響確認結果を 183、100、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:42	184 ページに示しております。
0:09:45	183 ページをお願いします。
0:09:48	萩原も、
0:09:50	領域については気象庁カタログ更新後の影響を確認してございます
0:09:55	下の表にシマ示しました通り、データの更新をすべての領域で年発生頻度がやや増加しておりますけれども、ハザード曲線は既許可と同等であり、影響ないことを確認しております。
0:10:08	184 ページをお願いします。
0:10:12	書けよ。
0:10:13	垣見他の領域について確認結果になりますけれども、領域 10C7 や、11x0 では、年発生頻度がやや増加しておりますけれども、
0:10:24	ハザード曲線は既許可と同等で影響がないと確認できております。従いまして確率論的ハザード評価への影響確認の結果、既許可の特定震源モデル及び領域震源モデルの影響がないことを確認しており、
0:10:37	既許可の確率論的ハザード評価への影響がないことから年超過確率の参照におきましては、A評価で評価した位置をハザードスペクトルを使用することとしております
0:10:50	続きまして 185 ページをお願いします。
0:10:54	補足⑨では、
0:10:57	標準応答スペクトル用モデルによる既許可の地震動評価への影響確認として、
0:11:03	経験的グリーン関数法と理論的手法のハイブリッド合成法及び、統計的グリーン関数法の地震動評価への影響を説明して、したい、したいと思っていたものになります。
0:11:16	こちらについて 100、1160 回、
0:11:20	審査会合のコメントを踏まえ、
0:11:23	影響確認の。
0:11:25	最終的な確認結果が明確となるように、記載を適正化しています。
0:11:32	具体的にはまず 193 ページをお願いします。
0:11:37	経験的グリーン関数法による基準地震動Ss2 及びSs3 と、経験的グリーン関数法と理論間理論的手法によるハイブリッド合成法の比較につきましては、
0:11:48	三つ目から五つ目のバーの通り記載を適正化して、
0:11:52	ございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:54	標準応答スペクトル用モデルでは、強化モデルよりも、地盤減衰が大きいことから、理論的手法の長周期の結果は小さくなることから、許可の経験的グリーン関数法と、
0:12:06	経験的グリーン関数法のあと理論的手法のハイブリッド合成法。
0:12:11	の関係性に影響変化はないことから、
0:12:16	経験的グリーン関数法による、
0:12:19	Ss2、Ss3 に影響がないという記載をしてございます。
0:12:24	196 ページをお願いします。
0:12:28	こちら標準応答スペクトルモデルを用いた理論的手法とのハイブリッド合成結果を、今後お示しする結果と、予定となっております。
0:12:36	こちらについては今、解析を実施中でありまして、影響がないことを確認しておりますけれども、品証上のチェックができ次第ご説明する予定となっております。
0:12:50	次に、1900、199 ページをお願いします。
0:12:57	199 ページでは経験的グリーン関数法によるSs2、Ss3 と、統計的グリーン関数法の比較の影響についてご説明しておりましたものを、
0:13:07	二つ目のバー以降の記載に適正化してございます。
0:13:12	標準応答スペクトルモデルは、地盤減衰が大きいいため、標準応答スペクトルモデルを用いた統計的グリーン関数法による地震動は、許可よりも短周期側で下回る結果となり、長周期は、
0:13:25	経験的グリーン関数法が統計でグリーン関数法を上回り、短周期は、両手法の結果同等である関係性が極から変わらないということから、
0:13:35	キクカワ野木経験的グリーン関数法による評価に影響はなく、基準地震動SsにS3 は、
0:13:43	変わらないという記載に見直してございます。
0:13:46	ご説明は以上になります。
0:13:49	続きましてTPG037 の補足説明資料及び
0:13:55	TPGA041 の追加補足説明資料についてご説明させていただきます。
0:14:02	まず先に 8 月 17 日に提出させていただきました、TPG03 の資料について簡単にご説明させていただきます、その後、本日提出させていただいた資料になりますけれども、
0:14:15	評価から駅申請そして今回、今回補正の変更点につきまして、改めて整理しておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:25	そちらをT041として主に説明させていただければと考えております。まず、PT03の資料の資料について簡単にご説明させていただきたいと思っております。
0:14:38	ページを開いていただきまして、左側、2021年8月23日の申請の当初申請の記載を記載しておりますして右側に今回の補正案を記載してございます。
0:14:52	右側の補正案のうち、赤書きしているものが、今回、変更箇所になっておりまして、右端の列、備考と書いてございますけれども、こちらが変更理由を記載してございます。
0:15:05	10ページをお願いします。
0:15:11	10ページから33ページまでが、今回補正案で変更となった図表を記載してございます。
0:15:18	赤が赤の四角囲みに変更点になっておりまして本文と同様に、備考に変更理由を整理してございます。
0:15:28	34ページをお願いします。
0:15:34	34ページ以降が、当初申請、当初申請書に直接表の記載のないもののうち許可から変更になる、参考文献や図表について整理してございます。
0:15:45	例えば先ほどまとめ資料でご説明しました、収集対象となる、内郭地殻内地震の地震の記載であったりとか、カトウ他について整理してございますけれども、
0:15:55	どうも変更理由等については、TT041の方でご説明させていただきます。
0:16:02	続きまして、GTG041の資料で今回、具体的な変更点のご説明をさせていただきますと思っております。
0:16:10	1ページをお願いいたします。
0:16:16	今回標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について補正申請書案できとか、及び、当初申請書から変更になった箇所について、下記の通り整理してございます。
0:16:27	このうち、赤字が既許可から当初申請で記載を変更した箇所、赤字、青字が記載評価から当初申請記載を変更した箇所、
0:16:37	赤字が当初申請から、今回、補正申請書案で記載を変更している箇所となっております、
0:16:44	ございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:45	県今回変更となった箇所について、ABC、大きく三つに分類してごさいます。
0:16:52	まず、Aについてですけれども、基準改正に伴い当初申請で変更した箇所になっております。
0:16:59	A、A-1 が、基準基準等の改正に伴う記載の反映で、実用は実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備基準に関する規則の解釈、
0:17:13	以下、設置許可の基準規則の解釈、解釈としますが、及びそれから、
0:17:20	基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイド、以下、基準地震動審査ガイドとしますが、令和 3 年 4 月 21 日の改正により、
0:17:30	地域性を考慮する地震動及び全国共通に考慮すべき地震動の記載が追加されたことに伴う記載の反映をした箇所、
0:17:38	となっております。
0:17:39	次にA-1になります。
0:17:42	イセ。
0:17:44	設置許可基準解釈、基準規則の解釈の、令和 3 年 4 月 21 の回数日の改正による標準応答スペクトルを考慮した地震動の検討結果について当初申請書段階での検討内容となります。
0:17:58	続いてA-3 についてです。A-2 の検討結果としてS6 として当初追加した、基準地震動のに関する記載となっております。
0:18:09	続きましてBについてになります。Bは、今回当初申請から、標準応答スペクトルを考慮した地震動について、審査いただいた内容の中で、見直した箇所になっておりまして、
0:18:21	B1 からB4 に記載の通り整理してごさいます。
0:18:26	次に、Cになります。Cは、その他記載を見直した箇所となっております。
0:18:31	まずC1 についてですけれども、加藤ほか 2004 に関する記載の削除となっております。
0:18:37	おります。
0:18:38	機構においては震源を特定せず策定する地震動のレベルの参考として加藤ほか 2004 に観測記録に基づいた議事。
0:18:49	速度応答スペクトルを、市営知見として参照しておりますけれども、考慮しておりますけれども、令和 3 年 4 月 21 日の設置許可基準規則の解釈の改正により、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	取り入れられた標準応答スペクトルは、検討チームの報告書において、標準応答スペクトルは全周期体においてカトウスペクトルを上回ることを確認した。
0:19:12	とされておりますことから、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に伴い、
0:19:18	カトウスペクトルを考慮する必要ないと判断し、関連する記載を削除してございます。
0:19:23	続きましてC-2ですけれども、震源を特定せず策定する地震動の策定に関する方針、括弧Ss1との比較の見直しとなっております。
0:19:34	評価においてはSs4及びSs後について、Ss1から3を一部の周期で上回ることから基準地震動として策定してございましたが、今回審議を特定せず策定する地震動の、
0:19:46	それぞれについてSs1と比較する方針を見直してございます。
0:19:52	なお、方針の見直しを行っても、既許可時に、評価上の判断に影響はなく、S4及びSs後は基準時、既許可時と同一となっております。
0:20:03	次にC3になりますけれども、MW6.5程度未満の地震であります。14地震に関する記載の削除となっております。
0:20:11	許可時におきましてはMw6.5程度未満の地震について基準地震動審査ガイドの収集対象となる内陸地殻内地震の例示の記載を踏まえ、
0:20:22	収集対象となる14地震に関して記載してございましたが、令和3年4月21日のガイドの改正により、収集対象となる内陸地殻内の地震の例示が削除されたことを踏まえまして、
0:20:36	14地震の例示に係る記載を削除してございます。
0:20:40	次にC-4になりますけれども、原子力安全基盤機構2005に関する記載の削除となっております。最新の基準地震動審査ガイドの解説では、
0:20:51	震源を特定せず策定する地震動の基準地震動の妥当性の確認として、安全原子力安全基盤機構による地震動の年超過確率別スペクトルが例示されておりますけれども、
0:21:03	標準応答スペクトルの検討チームの報告書におきまして、
0:21:08	原子炉JNESの地震動の年超過確率、
0:21:12	スペクトルとの比較がなされておきまして、周期0.3秒程度以下において年超過確率10のマイナス4乗と10のマイナス5乗の間にある、それから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:22	周期 0.3 秒程度以上では、年超過確率 10 のマイナス 5 乗程度以下のレベルに対応することが確認されておりますので、今回標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に伴い、
0:21:34	原子力安全基盤機構 2005 との比較は必要ないと判断し関連する記載を、
0:21:40	削除してございます。
0:21:42	2 ページをお願いします。
0:21:46	以降 3 連覇をつけておりますけれども、一番左に既許可の申請書、2 番目の列に当初申請の記載。
0:21:55	それから 3 列目に今回補正案。
0:21:57	一番右の列に備考の備考として、先ほど 1 ページ目でお示した変更理由を、どの部分に該当するかということところを明示してございます。
0:22:09	なお黄色でハッチングをしている箇所につきましては、PTC037 から記載の適正化を実施している箇所になります。
0:22:17	2 ページ目についてはTBD3037 で西暦表示していたものを、和暦表示に見直したものになってございます。
0:22:27	3 ページ目以降ですけれども、7.5. 1 から 7.5. 6.1 ショウガン 5 になりますけれども、評価からの記載の変更はございません。
0:22:36	18 ページをお願いします。
0:22:44	7.5. 6.2 からが記載を変更した箇所になってございます。
0:22:49	7.5. 6.2 につきましてはA-1 基準基準等の改正に伴う記載の変更と、その下に加藤ほか 2004 に関する記載の削除をしてございます。
0:23:02	19 ページをお願いします。
0:23:05	こちら当初申請における地域性を考慮する地震動及び全国共通に考慮すべき地震動の記載に変更はありませんが、標準応答スペクトルに関して全国共通に考慮すべき地震動の節に移動をしております。
0:23:17	また、Mw6.5 程度未満の 14 地震に関する記載について表記載していた部分の記載を削除してございます。
0:23:25	20 ページをお願いします。
0:23:29	5 行目に黄色のハッチの部分がございますけれども、こちら当初申請の記載の記載では、地域差という語句乙へ記載していたんですけれども、
0:23:39	次、基準地震動審査ガイドの機器改正に記載をそろえまして記載の適正化を実施し、地域性という言葉に直してございます
0:23:47	また、下の方ですけれどもカトウ他に関する記載の削除をしてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:54	21 ページをお願いいたします。
0:23:57	こちらも 14 地震の削除カトウ他の記載の削除をしてございます。
0:24:02	21 ページ。
0:24:06	4、
0:24:09	22 ページをお願いいたします。
0:24:14	またから始まる部分が標準応答スペクトルについて、審査いただいた場所を反映してございます。
0:24:21	標準応答スペクトルのスペクトル値をお示した後に、地震基盤相当面の設定地下構造モデル、それからQ値の設定等審査を踏まえた内容を編反映してございます。
0:24:33	23 ページをお願いいたします。
0:24:37	模擬地震はの作成及び選定については、観測位相を用いた模擬地震はトラン水槽を用いた模擬地震はの設定と結果的に、乱數位相を用いる表現順とスペクトルを考慮した地震動として、
0:24:49	方針を主とした部分についても記載を充実してございます。
0:24:54	24 ページをお願いいたします。
0:24:58	こちらについては加藤他JNESの記載の削除をしてございます。
0:25:02	25 ページから 26 ページは図に関する、記載の修正と名のみとなっております
0:25:11	27 ページをお願いいたします。今回審議を特定せずの基準地震動の策定方針を見直した部分につきまして、Ss1 と比較するように、記載を見直してございます。
0:25:23	28 ページをお願いいたします。
0:25:26	下の方に黄色のハッチがございますけれども、こちらTT037 の資料について図表番号が一部ずれておりましたので修正をかけております。失礼いたしました。
0:25:39	29 ページ以降については参考文献になります。加藤ほか、それからJNESの記載について参考文献から削除してございます。
0:25:47	ご説明は以上となります。
0:25:54	はい。
0:25:57	ちょっと今日急遽説明があった資料もあるのですが、
0:26:03	ちょっとまだ、分厚いほうのまとめ資料、
0:26:07	アレイ、今日なんかまだ解析中ってこれ前の 8 月 17 日に資料提出があった直近のそのあとの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:16	別のヒアリングの時にも同じようなことをおっしゃってたと思うんですけど、
0:26:20	まだできてない。
0:26:22	ですかねいわゆる、解析中と言ってたのは、
0:26:25	何ページだとか 190 何ページぐらいだと思いますけど、
0:26:29	190、
0:26:31	6 か。
0:26:33	これ何か資料が出てきてなんかまだ空欄のページがあるんです。いやそれはスケジュール上だと、9 月の。
0:26:39	頭ぐらい、何か追加で。
0:26:42	頭ぐらいでしたっけ、出す出すので、おっしゃったような気がする。
0:26:45	はい。九州電力の本村でございます。さっき、先ほど野々村が申しましたけども、196 ページのハイブリッドの形、計算ですけども計算自体は終わっております、今ちょっと社内のチェックをしておりますので、
0:26:59	そのチェックが終わり次第、埋めて、再提出させていただくというような、
0:27:05	ちょっとスケジュールでございます。当初 9 月の上旬というようなところでございましたので、
0:27:12	上旬中旬ぐらいだったと思いますので、そこら辺準備でき次第、
0:27:18	入れて、資料に入れて、提出させていただきたいと思ってござい
0:27:24	はい。
0:27:25	その上でというか大体結果目に見えてる部分ではあるんですけど、その上で、
0:27:33	あと、
0:27:37	地下構造モデルの部分ですよ。
0:27:40	これ仙台は結局、評価のモデルを、これ短周期側にも実は使える話でといて、
0:27:47	一本のその 1 次元地下構造モデル、我々許可の時にも玄海も別に長周期を地下構造モデルと審査書を書いているわけではなくて、そのサイトの 1 次元地下構造モデルはこういうものです。
0:28:00	ということで審査書書いてるわけですけど。
0:28:03	ここを、今のところ今日の方の資料の方がわかりやすいんですけどね。
0:28:11	テンロクで言うと地震の部分の、
0:28:15	地下構造って多分地震発生層震源断層がいろいろあって、
0:28:20	何ページ。
0:28:23	11 ページぐらいからですかね、敷地の振動特性の中の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:28	がこれ、
0:28:30	構造で、解放基盤で地震観測、鉛直アレイ微動アレイでその最後ですかね。
0:28:37	13 ページか。
0:28:39	地下構造モデルちょっとこれ、当時は基準地震動のものには結局この地下構造モデル使った地震動評価が選ばれてないんで割とあっさり書いてますけどね。
0:28:51	いやここに入れに行く。多分川内はそういう流れになるわけですよ。ここを参照しに行くわけですよ。
0:29:01	我々も別に何か審査ガイド上も、
0:29:04	いわゆる断層モデルのところでは確かに地下構造モデルみたいな話が出ていて、特定せずのところでは何か専用の地下構造モデルを作るみたいなガイドにもなってないわけで、
0:29:15	ちょっと何かここを、地下構造モデルをこう直しに行くのか。
0:29:22	特定せず地下構造モデルみたいなものをですね今多分とか構造特定せずの、
0:29:28	補正の方入ってますよね。
0:29:29	どっちでいくのか、ちょっとまずそこはどうお考えですかね。
0:29:38	はい九州電力の本村でございます。我々、甲斐ヒアリング会合等で、今日のまとめ資料の中にも入っておりますけども、
0:29:48	もともとの既許可の長周期用のモデルがあって、今回、標準応答スペクトルモデルということで、
0:29:57	モデルを設定してるというところで二つ、別々のもの、目的に応じてそれぞれ設定しているというところでございます。
0:30:04	で、
0:30:07	今の補正申請書案、提示させていただいておりますけども、先ほどありました 7.5. 5.4 のところは、断層モデルの理論的手法に用いる地下構造モデルを記載させていただいております、
0:30:20	特定せずの方は特定せずの標準応答スペクトルをモデルと
0:30:25	いうことで、
0:30:26	今、我々考えているところでありますと、別々に設定してるというところで、
0:30:34	記載箇所は異なりますけども、二つのモデルを記載していると
0:30:38	いうところで、が現状でございます
0:30:44	いやもともとの議論の出発点はわかっています、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:48	もともとの許可の聴取、長周期のハイブリッドで使ってたモデルをそのまま標準応答スペクトルを使うのはどうかと言って別のものを考えましたっちゅうその話の流れは、
0:31:00	出発点はそれで結構なんですけど、
0:31:02	その上で、実際に作られたモデルでそれじゃ許可の地震動評価との関係もわざわざ、
0:31:10	説明も何って、
0:31:12	もちろんそのデジタル市で微妙にずれてるかもしれないですけど、ほぼ影響はないし、
0:31:17	今回の方が短周期はもう長周期がもうカバーで、
0:31:21	いるして、
0:31:22	同じ別に発電所が違ふと考え方が全く違ひますって言うのかもしれないけど、
0:31:28	仙台の方は、
0:31:29	いやそれはもう全く別物でそんなもの使えないですって話でも、結局なかったわけですよ。
0:31:37	あんなものってのは許可の時のものは、いやこれは標準と
0:31:40	全周キタニものには使えないんですって話でも結局なかったわけですよ。
0:31:45	そうするとわざわざこう分けて書いておいて、今後この何か新しくデータが蓄積されて、
0:31:52	地下構造モデルをアップデートするような機会が今後あるのかわからないですけど、そういう機会があった時には、それぞれ別のロジックで全く別の説明をするのかっていうと、
0:32:04	そういうわけでもないする。
0:32:08	もともと我々として基本は、敷地の地下構造モデル 1 次元の地下構造モデルっていうものは、別に 1 個であればいい、あることにこしたことはなくて、そんな何個もあるものではない。
0:32:20	何らかいやどうしても分けないとおかしいというようなものがあるんだったら最終的な社会として、
0:32:28	分かれてもいいと思うんですけど。
0:32:30	ちょっと何か川内との関係も違ふはずだし、今後何かこう知見を反映していくって言ったときに、
0:32:37	これをこう、この負けとって今後もそれぞれ別のものとしてずっと説明し続けていく、アップデートし続けて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:45	この許可申請の中でアップデートするのか、もう少しちょっとFSRとかね そういう実態上の話として、今後御社がアップデートして、例えば地震動 の余裕は実はこのぐらいレベルがあったみたいな話を、
0:32:58	そういう中でやってく時にも、何か個別別物としてずっとこう並列で、
0:33:04	説明二つの説明を、二つともそれぞれ別々のロジックでアップデートし ていくのかっていうと、そういうものでもないような
0:33:12	いやなんかこの際適正化できるようなものは適正化しておいてしまえば というのが、ちょっとまず問題。
0:33:19	バツなんです
0:33:20	この辺はいかがですか
0:33:25	九州電力の本村でございます。鈴木さんのおっしゃる、
0:33:29	通りですね、今後のこととか考えると、あと地下構造モデルっていうのは 地盤は同じなので一つっていうところは、我々も認識してございまして、
0:33:40	現状、やるとすれば、
0:33:43	今回の標準応答スペクトル用モデル、浅いところですね。それとあと、長 期評価の長周期用のモデルを統合したようなモデルっていうのが、
0:33:53	今後、何かしらあったときには、
0:33:56	そういうモデルでやるとか、そういうところはあるかなとちょっと思ってま して、ただ
0:34:05	そうですね、ちょっと今後、新たな観測とか取れて、アップデートという話 もちょっとあるかなと思いますけども、なかなか今
0:34:15	ちょっと難しいところもちょっとあるかなと結果的に
0:34:20	先ほどご説明もしましたが、評価への影響というところは、
0:34:25	確認してございますので影響自体はないんですけども、ちょっとそこら 辺ちょっとまだちょっと悩ん、悩んでるといいますか、
0:34:32	ちょっとすいません現状としてはそうなんですけども、ちょっとお待ち
0:34:38	すいません九州電力の明石でございますちょっと補足いたします今、本 村が申し上げた通り当社ここ自体を非常に悩んだところではございま す。
0:34:49	鈴木さんおっしゃる通り今後のことを考えると、
0:34:53	敷地にとっての地盤モデル、は今回、まさに最新のデータも
0:34:58	踏まえてアップデートしたわけですから最新のモデルはこれですよとい う。
0:35:03	形であるべきだろうというのはもう最もなところで我々もそうだろうとは思 ったところなんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:11	要は、
0:35:13	すいません。
0:35:16	手間の問題って言い方をすると、すみません非常に語弊があるんですけども、
0:35:21	まず今、
0:35:22	会合の中で審査会合におきましては当社は、もともとの町就業モデルがあつて、標準音スペクトル用のモデルを作りますと
0:35:33	いうことで二本立てでご説明をしてきてる。それを、
0:35:36	何か一本化するような話になるところはやっぱり会合でもう一つ、もう一度説明し、ご説明しなきゃいけないんじゃないかと。
0:35:43	いうところが一つ
0:35:44	それと、申請書の添 6 の中での書きぶりとして、
0:35:49	おっしゃる通り仙台の方は、この何例ん何. 5.5 敷地地盤の振動特性の中で再整理をして、地下構造 7.5. 5.4 地下構造モデルについては、
0:36:02	標準語とスペクトルも含めてこのモデルですよと。
0:36:05	いう書きぶりになるので、限界もここにということ。
0:36:10	も当然考えられるんですけども、そうすると、7.5. 5.4 でモデルをこうしますだけじゃなくって、
0:36:18	それに先立つ過去に、特に(1)ですわ敷地内の地震観測のところ、
0:36:24	これ、敷地内の地震観測記録による整理であった到来報告の整理だったり、
0:36:32	データをアップデートするとなるとここもちょっと絡んでくる。ただここまた審査会合でこれまでアップデートするとなると御説明してない話になるので、
0:36:43	この辺、この章立ての中で、再整理をするとなると、まだご説明してない事項をご説明しなければならない事項が出てくるので、
0:36:53	ちょっとそのの、
0:36:56	時間とか手間と言ひ方はよろしくないんですけどもちょっとその手続き、
0:37:00	が必要なのかな。
0:37:03	で、さらに当社の判断としては今回長周期をの地震動をについては今回モデルに、仮に一本化するとすると、
0:37:13	小さくなる方向なので、
0:37:15	これまでの申請書に記載している、計算は見直しませんと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:19	いうスタンスでそういう整理でご説明をさせていただいておりますが、モデルを何がしか一本化するような話になるとそこも含めて、申請書をすべて綺麗にする
0:37:31	でもという、既許可の時にいろいろまとめさせていただいております。地震についてのまとめ資料フローペーパー
0:37:40	これもおそらくまとめ直すという必要が出てきますので、ちょっとやらねばならぬことが多いなど。
0:37:47	いうところも頭にあって悩みながらもこの結果に至ってるというのが正直なところ。
0:37:55	ではございます。
0:37:57	考えかたとしては先ほど鈴木さんご指摘いただいた通りのところだとは思いますが、
0:38:03	現状当社の判断といたしましては、これまでの長周期に用いていた断層モデル潮汐に用いていたモデルと今回、
0:38:12	標準とスペクトルについて策定したモデル、これを申請書の中で並列する形にいたしまして今後どうするのということについてはもう答えとしては、
0:38:24	もうその都度、こういうモデルである、その妥当性を、
0:38:28	ご説明しながら、
0:38:30	対応していくしかないのかなってその手段としては先ほどありました通りFSAR、絵を使いながらアップデートしていく、
0:38:39	考え方もあるとは思いますが、
0:38:41	現状今回の補正に当たりますはそれにホンダで、
0:38:45	今、まさに審査いただいた流れを踏まえてまとめるという判断に至ったと。
0:38:52	いうものでございます
0:38:54	以上です
0:38:59	じゃ、別に何か会合で。いや本来、まとめてまとめておいた方がいいと思っていて、いや、何回分一言説明する必要があるんですということだったら別に次の川内の会合のときに、
0:39:15	別に合わせて、いや、まとめて説明しても結構ですけどそんな何か説明することってあります。
0:39:22	確かに、今日地震動評価のハイブリッドの結果は画像を貼り使えるっていう作業はもちろん

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:29	ありますけど、別に基準地震動を引き下げるわけではなくって、もともと基準地震動への小さい地震動評価結果の図が変わるっていう、
0:39:38	だけですよねっていう説明は、一応これは、前回の会合のときに、
0:39:45	そういう影響がないものなものなんですって説明はもういただいているわけで、
0:39:51	あとは申請書のどの、
0:39:53	時間構造の話を記載するかっていう、それだけなので、何かあんまりか会合で議論するっていう内容。
0:40:01	でもないところなんですよ。
0:40:03	てはいるんですけど、
0:40:05	そんなに何か何かあります。
0:40:07	もちろん、まとめ資料の刊本ってそういう意味でいうと特定せずなんか
0:40:11	いわゆる全国共通と地域性と分かれてカトウスペクトルが
0:40:15	いらなくなって、
0:40:17	これまとめ資料の刊本版を今作ってますからツツミを作っていない。
0:40:23	もちろんそういうものがあればね。
0:40:24	でいいし、いやもともと、もうどうしても手作業が長いっちなうんだったら、ももとのまとめ資料の何ページはこういうふうに
0:40:34	があるんですっていう形だけにして、あかん本までしばらく置いてしばらく、
0:40:40	時間かけて綺麗なものを、
0:40:42	構わないですけども、
0:40:43	何というかその部分の手間をですね、欲しいんで。
0:40:48	ちょっと今の 22、今多分地下構造 22 ページにあるんですけど、どうしてもこの書き方になると、何か唐突に何メートルまでは流用し何メートルまではこうやり、
0:40:58	ってなっていて、
0:41:00	それ何ですかっていうところも、当然この今の記載だと見えない。
0:41:06	ただ
0:41:07	その一本化してしまえば別に何か、どこから瓜生どこを何か利用してみたいな話はいらなくなって、地下構造としてはこういう考えで設定してるんです。
0:41:16	これは特定センターそれ使ってるだけですっていう説明になるんで、むしろそっちの方が、
0:41:22	何ていうか、何メートルまで流用と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:25	ちょっと流用っていうのもあんまりこう申請書に書く言葉としてはどう、ちょっと適切な言い方かなっていうのはもちろんあるんで、
0:41:32	何かむしろこう分けた方が、こう書きぶり、
0:41:37	もともとあったものと、部分的利用してきてるものっていう書き方にすると、
0:41:43	それはそれむしろそっちの方が、
0:41:47	ご申請書に本を書くと
0:41:49	面倒だと思うんですけどね。
0:41:58	はい。九州電力の明石でございます。先ほどちょっとテーマとは申し上げましたけども確かに統一したところで影響がないということは今後ちょっと、ハイブリッドの計算結果は、
0:42:10	つけますけども影響しないということは確かに会合でご説明しているところ。
0:42:16	ですので
0:42:18	あとは申請種、申請書で補正の中でどうまとめるかという問題であると、いうことは理解いたしました。
0:42:28	うん。あとは、ちょっともう細かい話ではあるんですけども、今回その辺観測データも含めてアップデートしてますという時に前段の方に出てくるその他もろもろの、
0:42:41	何ていうんすか観測データに基づいてるところ、
0:42:46	先ほどちらっと申し上げましたけども、この
0:42:50	PT041 の、
0:42:53	11 ページ 12 ページをご覧いただく。
0:42:58	と 11 ページの方ですね。
0:43:00	失礼しましたし、11 ページ、12 ページの方。
0:43:03	この地下構造モデルに先立つ 7.5. 5.3、地震観測及び微動アレイ観測と微動アレイ探査というのがあって特にこの(1)
0:43:14	のところ敷地内の地震観測と人出ということでこれこれこういう地震観測を実施しているで、観測地震の諸元や新聞ところ示すこうこうこういう話があって、
0:43:25	ここも、福岡県西方沖地震が最大であるということとは変わらないんですけどもちょっとこのデータをどうアップデートするのかわからないのかということと、その下、後に出てくる地震の到来方向、
0:43:39	による分析等もやっていますので、ちょっとこの辺もアップデートをするかどうかアップデートするとすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:46	その辺の資料、もちろんこれまでご説明してないところですので、
0:43:53	このこの小小の中で、この 7.5. 5 の敷地地盤の振動特性その流れの中での地下構造モデルということでまとめるとなると、
0:44:04	この地震観測くうの、これのデータであったり図表についてはちょっとアップデートしなきゃいけないんじゃないかなと。
0:44:11	いうふうに、ちょっと細かいかもしれませんがも気になってたところではありますので、
0:44:20	この辺の、大前裁き前捌きという言い方おかしいですけど整理した上で、地下構造モデルは 7.5. 5 点こうしますと。
0:44:28	いう流れになるのかなと。
0:44:30	ちょっとすいませんそこが、細かい話かもしれませんが正直ですちょっと悩んでたところではございます
0:44:37	いや、何でそその話は前にそんなようなことは、
0:44:41	多様な気もするし、
0:44:43	当然
0:44:45	今日の資料ですかね今日付の方の 12 ページでいくと、
0:44:48	主な観測地震の諸元をっていうと、これがだから今回の地下構造モデル。
0:44:55	この議論のところの諸元は当然入ってないわけですよ。
0:44:59	それをふやした上で信用分布の図も、加点が増えますという
0:45:04	ですよ。
0:45:06	主な地震観測記録の公開生保基準スペックこれは最大は変わりません。黒田先生保険の応答スペクトルも変わりませんでまた書き以上の
0:45:16	M5.0 以上の地震により、
0:45:19	このオダによる野瀬で到来方向に比較するとって、いや当然これ、今回、地震観測記録をふやしたことによって、到来方向別のデータを含めると到来方向別で、
0:45:31	いや結果が大きく変わって、到来方向別に違いが出るんですって。
0:45:35	というのが、
0:45:37	そうではないということは当然ながら、我々にその会合で逐一こういう細かいところまで説明するかは別にした社内では当然確認されてるわけですよ。
0:45:48	その確認した上で到来方向別の特異な地盤増幅の傾向があるんだったら、それはむしろ黙ってないで買いに行けて話になるわけで、
0:45:57	そうじゃないことは当然わかっ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:59	ているのであれば、
0:46:01	それを確認するためには当然、ノダで計算してるわけですよね。
0:46:05	いや何かこう、いや特異な増幅が、
0:46:09	あるのかないのか、それは別の知見をもとに何かいい版つけて特異な増幅がないというふうに説明しなきゃいけないのか。
0:46:16	そういう微妙なものであれば、もちろん何か会合でね、説明してもらうちゅうのもあるかもしれないですけど、いや当然ながら今まで通りと同じ結果が出てました地震の数が増えただけです。
0:46:26	そんなものを、さっさとアップデートしてしまえばいいだけのような気が
0:46:30	けど。
0:46:30	現時点でもなお実は、
0:46:32	特異な増幅到来方向を経たやつは、
0:46:35	要は、
0:46:36	社内では、
0:46:37	分析はしてないんです。
0:46:39	地下構造のときには、
0:46:41	Q値の引き下げ注1を
0:46:43	過剰だったものを下げるために使えるんでありました。到来方向なんですけど、それは検討してません。
0:46:49	当然ないわけですよ。
0:46:51	やってるんだったら別にここ適正化してしまえばいいだけの話だと思います
0:46:56	うん。
0:46:57	微動アレイは何か変わるんでしたっけ。
0:47:00	これ別に何か今回、
0:47:03	微動アレイはもうもともとやってたやつというか、今回新たに何か上書きしたものではありませんのでここはないですよ。地下構造モデルだこの地下構造モデルっていうところを、
0:47:15	許可の時には、これはハイブリッドでやって基準地震動にもお前、選ばれないレベルのものなんで、
0:47:22	この粒度で記載してますけど、当然許可の時には我々もう少し深さ方向別にこういう設定根拠で設定されていて、
0:47:31	当時は多分、伝達関数かな、何かで一応す、なんか、妥当性を確認したぐらいの話を当然我々、強い

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:41	審査書の方では、そういうと話も書いて従って、基準適合みたいな話を ですわ我々書いてるわけで多分それ許可のまとめ資料かどっかに、
0:47:52	今回その転炉食うで、じゃあどこまで書くかと言ってやっぱり基準地震 動の策定。
0:48:00	策定される基準地震動にダイレクトに使われている地下構造モデルなん で、さすがにこの許可のですね、7554の地下構造モデル。
0:48:09	この粒度だと。
0:48:11	もう少し足りないかなと、まとめ資料の方にいかないと、根拠がわからな い根拠ってか、
0:48:16	どう設定していいのか判然としないっていうと、
0:48:19	困るんで、最低限、
0:48:21	どういう、ある程度全部の1層ごとに書いてもらう必要はないですけど、 ある程度、どの層ではどういう設定根拠で
0:48:31	どういう根拠で設定していて、その地下構造モデルの妥当性はどうか 確認したんですかという
0:48:38	そのぐらいは二本立てでわかるようにですね。
0:48:41	はい。
0:48:42	と。
0:48:44	多分今の、
0:48:45	特定せずのほうに書くにしても、
0:48:48	何か設定はしたけれどもそれはどうやって、妥当な。
0:48:54	モデルなんだっていうところは、あんまり言葉としては書いてないかな。
0:48:59	も含めて、ちょっともうちょっとですね。
0:49:02	あんまりこう今手間を惜しんで、後々ずっとお座りが
0:49:11	スマイリーが悪いままですね、申請書残してくっというのは、今適正化で きるんだったらさ
0:49:16	低下してしまったらどうですかというそういうことですね。
0:49:20	はい。九州電力の明石でございます。まず、例えばその到来方向の話 だったらこれ当然、当社で確認してる場所ではありますので、
0:49:30	もちろんこれによって何がしか、っていう話になるものではありません ので、
0:49:35	イマセ先ほど来ちょっと悪い言葉遣いですけどもちょっと手間時間の問 題かなと思いますのでちょっと、
0:49:40	そうしましたら

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:42	ご指摘の趣旨は理解しましたので、どう、どうするかということをちょっと すいません当社の方でもう一度検討して、
0:49:50	この補正の書きぶりは、再整理をさせてください。
0:49:57	その上で後段のそのモデルの説明のところ、おっしゃる通り今、こうした という設定の説明だけで、妥当性の
0:50:05	話はほとんどところが多分全く違う、全く書いてないと。
0:50:08	思いますのでそこはちょっともうちょっと充実させるようにちょっと検討は いたします。
0:50:13	はい。以上です
0:50:16	はい。ちょっと妥当性の確認の図とかねそこまでは、多分電力載せると トゥーマッチなので、こうやって妥当性を確認したんだなというところまで はテンロクに書いた上で、
0:50:28	そのエビデンスですね細かい、それはこの審査資料の
0:50:33	下は載ってるっていう仕組みでもそれはそれであれだと思いますけ
0:50:38	ちょっとまずその位置付けとかどこにどう書くかっていうところは検 討いただいて、さっきみたいな到来方向の話なんで、薬局ではこの数を 自身でこういう図で説明してましたまとめ資料で、
0:50:50	いやこれ今回地震をふやしてもこういう結果で結論、
0:50:55	なんで、マシン
0:50:57	申請書上はこういう、
0:50:58	申請書は多分のM5 以上ノダでやって影響、何々っていう
0:51:04	申請書は図が変わるだけでずっと表が変わるだけで、
0:51:08	文言としては変わりませんか、そういう説明を、
0:51:11	単にの一、二枚で説明してもらえば済むだけの話ですよ、多分議論 する中身ではないと思ってるので、
0:51:19	その結果本当に、いや、これ何かこれ足したら到来方向別違うだろうみ たいな
0:51:24	議論を要するような話であれば、
0:51:27	それは各せずに出してもらって議論する話ですし、
0:51:30	そうじゃないんだったらもう単なる適正化の世界の話だと思いますけど ね。
0:51:34	はい。
0:51:35	ちょっとすいません一番その位置付けのところで、
0:51:41	ちょっとまず一旦ここはちょっと持ち帰って、細かいテーマをですね惜し まずに考えてもらえばと思いますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:50	はい。
0:51:51	まずは、それで、あとちょっとまとめ資料で細かい文言のところは、ちょっとこれは取れるの多分今、
0:52:01	正の構成とか、
0:52:03	そこら辺の話を先にしておいた方がいいと思うので、確認なんですけど、
0:52:09	どっちの方がいいのかなあ。
0:52:12	今日付の方が、
0:52:13	まだ全体がちょっと地震のところは今の話と、あとは、
0:52:19	これまさしくちょっと長期評価の、
0:52:21	ところどういうロジックで説明されるかというところで、
0:52:26	ほとんど地震動評価側をね影響がないような話をされるのであれば、ちょっと言い方とかだと、
0:52:33	それはそれで本的に補正申請書の書きぶりとして、やり方としてベストかっていうとあれですけど、
0:52:41	何ていうかもととの添 6 の記載の最後に、ちょっとずつ何か項目が出されていて、
0:52:47	2017 年長期評価の影響、何とかの影響って、あんまりテンロクにそういう章立てで書くものか、1 個 1 個なんですよ。ものかっていうのはあるんですけどそういう書き方をしている事業者もあれば、
0:53:01	別にこの O. 6 の、ここの中に別に、
0:53:07	もうちょっと修正して取り込ましていってやり方もあるだろうし、ただそれはちょっと検討地震には影響するようなものなのか検討用津波であまり津波であんまり言いませんけど、
0:53:17	そういうようなところまで影響してくるような知見なのかっていう、あそこ次第なところもあるので、
0:53:23	2、なんかその意味で、7.5 の地震も、
0:53:27	特定せず以外のところもいじるんだったら、別にのいじる箇所を特定せずに限らず、
0:53:34	地下構造のところだって適正化してしまえばいいじゃない。
0:53:38	ちょっとここ、地震の、その他ですかね最初の 2 ページから、
0:53:43	部分もちょっとここは長期評価の最終結果も含めて考えてもらえれば
0:53:50	ですすね。
0:53:52	今回名の基準の改正に伴っ。
0:53:59	で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:00	ちょっとあんまりこう良い位置なのか、どのシリーズでの発令なのかっていうところ、知久地区は1個1個みませんけど、
0:54:10	これー、
0:54:13	カトウほか、
0:54:14	これ許可のときに、確かにカトウをルもいい。
0:54:19	何だっけ。
0:54:22	鳥取県か。
0:54:24	その三つは、いわゆる特定せずの評価上はこの三つ、ちょっとまとめ資料上とかあと申請書上も、
0:54:32	何かカトウ他の記載が、とりあえず今だと、消したところどこでしたっけ275。
0:54:40	どこだ。
0:54:42	ちょっとごめんなさいね、また飛ぶんだ。今日の今日の
0:54:47	資料でいくと、
0:54:50	7号炉国井だから18ページからですよ。
0:54:55	ただ、ここ、この記載だけだと確かに、
0:55:00	何か加藤他のスペクトルが図で示されましたっていうだけで、何か別にこれを
0:55:06	を特定せずとしてAの地震として、
0:55:10	考慮しますって、別にここの書類上は言っていないんだけど、確かに、まとめ資料とか後の許可のときのまとめ資料ですね、あとは申請上の何か最後の図とかを見ると、
0:55:22	確かに何か比較をして使ってるようなふうでもあり、
0:55:26	一応ここは既往の知見として単に書いただけではなくて一応これは当時としては、
0:55:32	カトウ他を、を特定せずの地震動は地震動評価上です。
0:55:38	として考慮すると言っていたパートなんで、
0:55:42	今回、現状全国共通と地域性で全国共通は、留萌と
0:55:49	標準応答スペクトルっていうふうになったんで、
0:55:53	これは要りませんという、そういう整理なんですかね。
0:55:57	ただ、カトウ他農村以外の記載の削除理由ですね。
0:56:03	何かこれが、
0:56:04	今みたいな話ではなくて、
0:56:07	何か報告書。
0:56:09	報告書で標準音スペクトルはカトウ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:12	上回ってます。
0:56:14	かな。
0:56:15	確認したと。
0:56:17	あるんで関連する記載を削除。
0:56:21	で、
0:56:22	ということなんですけど、何かももとの記載見ると、鳥取県西部は何か、加藤スペクトルを上回るとか、
0:56:31	留萌も何かカトウを
0:56:33	による応答スペースを上回る乾燥機を加えられていること。
0:56:38	から、
0:56:39	何か考慮するような対応になっていて、必ずしもそのなんか標準応答スペクトルと加藤スペクトルの大小関係、
0:56:48	というよりも、何かもう少し選ばれる鳥取県西部とか留萌を一応考慮する時に選んだ理由としては加藤スペクトルを上回りますって、我々別に審査書では何もそんなこと触れてはないんです
0:56:59	けど、御社の処理場はそういう、
0:57:02	いうのも理由にしてたわけ。
0:57:06	ただ、今回だから別にカトウスペクトルがあろうがなかろうが多分選ぶ選ばないは関係なくて、
0:57:12	基準で留萌と標準応答スペクトルであと地域性を考慮する地震としてはこれですっていう。
0:57:17	てるので、
0:57:18	加藤スペクトルはそういう意味ではいらなくなったというような話かなと。
0:57:23	けど、
0:57:24	いずれにしても、その加藤スペクトルの記載は、あってもおかしくあっても悪くはないし、なくても悪くはないし、ただし、基準地震動の策定のときたか、
0:57:35	ね、超過確率の参照のときに、
0:57:37	あれが、図として残っていると、確かにおかしいよねっていうのは、いわゆる、年超過確率Ⅱの比較を見たときに、何でこの段階で加藤スペクトルがまだいるんだと。
0:57:48	いうところなんで、
0:57:51	すべて消してしまうのは消してしまうということで、別にそれがあつたからないからといって、多分ガイド上何かカトウスペクトルがあつていう場合は、必ずしもいらないと思うんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:02	ちょっともうちょっとねこの理由は少しわかるように適正化してもらえればと思いますけど。
0:58:08	この 14 地震なんかもこれは確かにそうですね、励磁がなくなったという ことで、
0:58:13	あとはSs1 か、これは前に多分ちょっと聞いたかな。
0:58:18	断層モデルじゃないか。留萌と鳥取県西部し、
0:58:27	何か選定するとき、別にSs1トダテ比較しておけばいいところを、新 居さんとも含めて今比較したんでっていうことで、これは別に今回、適正 化すること。
0:58:37	あと、原子力基盤機構 2005、
0:58:41	の記載で、
0:58:44	何かこれもその落とした理由が、
0:58:47	標準を藤スペクトルは、
0:58:52	原子力基盤機構 2005 と比較がされて、同じぐらい、このぐらいです ねと。
0:58:59	だから、
0:59:02	標準音スペクトルの地震動と原子力基盤機構 2005 の比較は必要ない と判断してなってるんですけど。
0:59:09	じゃあじゃ留萌とその、
0:59:12	鳥取県西部、
0:59:13	はどうなってるんでしたっけっていうのがあって、最も審査ガイド上も別 に 2000、
0:59:20	技術基盤機構と 2005 との比較をして、何か食えず論的に地震動レベ ルの
0:59:27	妥当性をチェックしなさいよと。
0:59:31	示しなさいよとなっているわけではなくて、もちろんその応答スペクトル が適切な応答スペクトルレベル、括弧地震動レベルが設定されているこ と。
0:59:42	解説上も設定された応答スペクトルの妥当性の確認において、
0:59:48	確率論的な評価を参考とする場合は、
0:59:52	なんで、
0:59:53	別に確率論的な評価を参考としないやり方で、レベル感の妥当性説明 するなら別にいらないし、
1:00:00	仮に確率論的な評価を参考する場合でも、例えば原子力基盤機構によ りなんで、別に原子力基盤機構によらなくてもいいわけで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:10	ちよつこの辺りもう回った標準応答スペクトルは、減少基盤機構 2005 との比較という意味では、そもそもがもう、
1:00:19	基準を作る段階で確認されてるんで、その説明はいらないでしよって言ったんですけど。
1:00:25	出る大井とか鳥取県西部とかですね、そこはどうなってるんですかという。
1:00:30	いうところをちよつとまず教えてもらっていいですか。いやそれとも別に 2005 によらず、JNES2005 によらずに、
1:00:37	何かレベル感はこのように見てますっていう話なら、
1:00:41	そういう説明をしてくれればいいし、
1:00:43	はどうですかね。
1:00:52	拳手。九州電力の盛でございます。
1:00:55	おっしゃる通り留萌地震とですね、鳥取県西部地震につきましては、まず、申請書上としましては 24 ページの後段で、特賃金を特定せず策定する地震動の応答スペクトルと、
1:01:09	江藤日本原子力学会 2007 の方法に基づいて策定しました領域震源の一応ハザードスペクトルの比較をしまして、
1:01:16	レベル感として 10 のマイナス 5 乗からマイナス 6 乗程度、年超過確率がその程度ということで、
1:01:22	過小にはなっていないということを、まず確認しております。
1:01:26	あと審査上ですね、既許可のときの、
1:01:30	評価としましては、留萌地震につきましては、
1:01:35	佐藤ほかの知見に基づきまして、
1:01:38	評価の中で地盤はぎとりの際に地盤減衰をですね、
1:01:42	小さめに評価したり、仕上がり上の地震動大きくなるような配慮を行ったり保守的なレベルとして設定していることですか、
1:01:51	鳥取県西部地震につきましては、
1:01:53	震源近傍の賀祥ダムの地震動を選定していますが、震源近傍のですね、他のKIcネット観測点の観測記録と比較をすることで、レベル感等を確認してございます。
1:02:05	土岐加納ちよつと時の状況になりますけど、以上となります。衛藤。
1:02:09	田澤さん、そのように確認してございまして、
1:02:12	このJNESの知見との比較というのは行ってないというものになります。
1:02:18	以上でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:22	はい。地震動のレベル感としては、別に許可のときのうちに、何か確率的にレベル感を見ているわけではないのでということですね。はい。いらないと。
1:02:33	一応 2000 人円超過確率の参照と結局ダブるんですけど、
1:02:39	減少学会 2007 のことはこれら三つとも比較をして、いわゆる超過確率のレベルで見ている。
1:02:47	そこは残すわけですね。わかり
1:02:50	うーん。
1:02:54	大体何を削っていくというところは、はい。
1:03:04	長くはですね、今回、資料がそれぞれ別々で分かれているので、
1:03:10	今今回当期評価のもので当初申請今回の補正で、その変更理由はって形で急遽、当時、
1:03:19	受けてまとめていただけてますけど、
1:03:21	ちょっと一方で適正化する図表とかが、個別の資料になってしまうので、ちょっと次持ってくる時には一つにまとめて、
1:03:29	開けますかね。
1:03:32	当然変わらず変わらなくていいっていうところもホシトリしなきゃいけないので、これは変えましたこれは削除しますとか、変えるものについてはわかる。
1:03:42	あれ、これ変えなくていいんだっけっていう。
1:03:44	変えて漏れてないよねっていうところのお 1 人があるので、
1:03:48	多少ねちょっと分厚くなってしまうのはしょうがないんですけど、いわゆるこの、
1:03:55	自信を持ってここは絶対変わりませんっていうところは、もちろんいいんですけど、
1:04:01	と、ズーもですねつけておいて、だから今だと 30
1:04:06	数ページ
1:04:08	とかもつけておいていただければと思います
1:04:11	一応、
1:04:12	カトウの話と、JNES2005 の話は理解しましたので、
1:04:20	その上でじゃあ、もうちょっと個別に見ていきましょうか。
1:04:27	18 ページからちょっと順に見て、
1:04:28	とかね。
1:04:31	はい。ここはまずは最初の青文字、これだから基準の書き方で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:38	地域性を考慮する、全国共通、ちょっとこれどっちを先に書くかですけどもともとが、
1:04:45	留萌よりも鳥取県西部の方が真崎に書いてあったんでMw。
1:04:51	6.5 以上、5 未満で書いてたんで、
1:04:54	書き出しとしてはこれ、
1:04:56	はい。
1:04:58	ここで出てこないでカトウ削り李D(3)を(2)に繰り上げて、
1:05:06	ここは、
1:05:08	特に書きぶりを収集するで、
1:05:15	地域性を考慮する。
1:05:17	全国共通。
1:05:19	で、この段階ではだからまだ具体的な、
1:05:23	地域性考慮する地震動、
1:05:26	というものは、どういうものを収集するんだとか全国共通に考慮すべき地震動として何と何をやるかっていうのは、
1:05:35	この段階では書かないってことにしたわけですね。
1:05:39	一方でこれはもともとは、もしかしたら表があったからなのか。
1:05:46	10、19 ページのポツですよ。
1:05:50	何かここで地域性考慮する地震動。
1:05:53	いきなり 2000 年鳥取県西部地震及び 2008 年岩手B内部に二つの地震は、
1:05:59	っていうふうになっていて、
1:06:01	ここ 0、あとの留萌もそうなんですけどね、何かいきなり留萌はとかってなっていて、
1:06:11	あれなんで急に当然経緯を知ってる人間からすると、当然それはあるんですけど、
1:06:17	これあれですかね全国共通は留萌と標準応答スペクトルってのは基準上書いてあるので、
1:06:25	だから、
1:06:27	自明。
1:06:29	でしょうという趣旨ですか。
1:06:37	九州電力の野々村です。
1:06:40	おっしゃる通り例示されているのでいきなり書き始めてるところではあるんですけども確かに
1:06:47	当間文章としては乱暴な感じもしますので前段として、説明を記載。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:52	した方がいいのかなとちょっと思います。
1:06:55	なのでちょっとそこは修正を検討します。
1:07:30	多分これ 19 ページの評価の時は、収集対象地震を第 7 号 68 に示すとなっていて、
1:07:42	これはだから岩手宮城鳥取県西部から始まり、
1:07:46	16 番目の和歌山県北部地震まで 16 戸が並んでいて、それがあつた上で、2000 年鳥取県西部地震はっていうふうに書いてあるんで多分そこは違和感がないんだと思うんですよ。
1:07:59	ですそれを、表が削られると。
1:08:03	ここで急に鳥取県西部と岩手宮城が出てきて、後は留萌基本でてきてっていう形で、
1:08:10	鳥取県西部運転は確かにガイド上では二つ書いてあるんですけど、
1:08:16	基準別記 2 条では地域性考慮する地震動として、
1:08:20	名指しには確かしてなかったんじゃないかな、留萌と標準応答スペクトルは名指しで、
1:08:26	書いて、
1:08:31	おっしゃる通りで留萌と標準応答スペクトルは期初規則の解釈で名指しで書いてあるんですけども、鳥取県西部んに関しては名指しで書いておりませんので、
1:08:45	そのガイドに、
1:08:47	例示され、
1:08:49	例示をされているということで、前段で記載を追加するかちょっと今のよう形で書くかというところでちょっと悩んだ結果、今のよう形で書いてる。
1:08:58	いう状況になってございます。
1:09:07	うーん。
1:09:09	なんか井戸上どう書いてあるんだろうなあ。
1:09:16	例でそうそうだからなんか、
1:09:18	事業者としてどうやってこの二つになったかという。
1:09:23	いや、ガイドで挙げられてましたって、
1:09:26	言うのもな、ちょっと待ってくださいねえ。
1:09:37	うん。
1:09:38	しますって少なくとも、
1:09:41	全国共通としてはこれ、だからもともと多分ここは、
1:09:44	今多分、全国共通

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:48	ものは、
1:09:50	ハウジョウ、
1:09:52	どう、
1:09:53	これは
1:09:55	ここまで長々書くかどうか別として、
1:09:58	やっぱり全国共通として何をやって、地域性コールマンとして何をやって っていうのは、何か宣言をしてから後ろに行くか、個別のポツのところで 宣言をしてから、
1:10:08	鳥取県西部と岩手宮城を書くかしないと。
1:10:14	うん。
1:10:27	感じ
1:10:28	ということちょっとまずどこに。
1:10:31	書くか、ポツの前に書くかその中に書くかちょっとして、
1:10:40	またこれ裏返すだけかもしれないですけどね。
1:10:46	ちょっとその二つの事実を考慮するというのと、書いておいた上でポート の生中身はねこれ、
1:10:54	変わらないと思うんで、この記載の適正化。
1:10:57	地域差がある、地域性がある。
1:11:08	ここの何か適正化は何だ。
1:11:11	これは、
1:11:13	別に日本語とこうなる。
1:11:16	なんで、記載の適正化っちゃうのは、
1:11:20	からも、
1:11:21	何かと合わせようとしたちゅうことですか。
1:11:26	ですねこの部分については、ガイドが令和3年の4月21に変わったと きに、
1:11:37	全国、解説の部分になる解説の部分のところの中で、自治体の違い等 の地域差があることが考えられるという記載がもともと
1:11:49	その部分が、ガイドの中で地域性があることが考えられる。適正化され てますので、その文章を引っ張ってきてるような記載を、
1:11:59	記載しているところになりますので、こちらガイドに合わせて記載適正 化としてる。
1:12:06	はいはいはいはい。解説カッコ2の、
1:12:11	何かないですね。はい。わかりました。それに合わせたところですね、概 要。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:16	ガイドに合わせました。はい。
1:12:19	そこ以降は変わらず、
1:12:24	地震動レベルがアカシたから、
1:12:29	七、八行目ぐらいですね、カトウ上回るというのがこれはいらなくなったんで、そのままダイレクトに賀祥ダムのS波速度は、
1:12:38	いうところに繋がると。
1:12:41	はい。
1:12:42	で、
1:12:43	次が 21 ページで、
1:12:46	ここも
1:12:49	bポツが、全国共通これはガイド基準やガイドの記載に合わせて、
1:12:56	6.5 程度未満という表。
1:12:59	兄弟して、
1:13:02	頭切ったのは、ナカ 14 地震の記載を削除して、
1:13:07	あとはカトウを上回るという話も入れなくなったんで、経理ますと。
1:13:12	ここも裸で急に、2004 年北海道留萌支庁南部Gでは出てるので、
1:13:18	このBポツのはじめに書くかそれより手前のところで書くか、して、
1:13:23	あらかじめね、2004 年北海道留萌支庁南部地震というものを考慮するんだと。
1:13:30	いう。
1:13:31	のが、あった上で、比木書き出しにしてもらえればと思いますんで、
1:13:38	ただ中身は変わらないので、
1:13:43	これでいいと。はい。
1:13:47	ここが根井、これさら 2 万これ御社の中の、
1:13:51	添 6 の記載上の階層なんですけど、
1:13:54	AポツとかBポツとか、さらに下の階層ってないんだっけ。
1:13:59	これの標準応答スペクトルのところが、いわゆるその地震基盤相当面の設定から始まり地下構造なり何なり、こっちが構造で動かすかもしれないんですけど、
1:14:10	ちょっとここだけ何か一つの
1:14:13	パラグラフ、
1:14:15	というか項目上、
1:14:18	規制が長いんですよね。何かこう、留萌と氷上能登スペクトル二つあるわけで、
1:14:25	もうちょっと何かこう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:26	留萌と標準を通じ、応答スペル区切ったりさらにもうちょっとその、
1:14:31	何か、
1:14:32	地下構造は残すかどうかは別にして、いわゆる
1:14:36	地下構造モデルは、もしね、全体として手前に持っていきんだったら、
1:14:42	どここの地下構造モデルを使うとか、
1:14:45	あとはその地震基盤相当面は多分ここで書かなきゃいけないんで、地震基盤相当面としてはこうだとか、
1:14:53	さらに模擬地震が1を乱数とかだいろんなこと、多分特定してるところでは、もう少し小見出しをつけて書き分けてるようなものも含めて、
1:15:04	ずーっところ、同じ中で書き下しているんで、
1:15:08	もうちょっとここはですねまず分けて、項目ごとに分けて書いてくれないかと。
1:15:14	その上でこれはもう先ほど申し上げた通りちょっと地下構造のところは、
1:15:19	もし、
1:15:21	設定根拠と、最後その妥当性をどう確認したのかっていうところがわかるように、どこに書くにせよですね。
1:15:28	書いてないと、最低限この構成で書いていただかないと。
1:15:33	いけない。
1:15:35	我々としても最後審査でまとめていく段階で非常に、
1:15:40	申請書にそんなこと書いてないじゃん。
1:15:44	上ですけどね、これはちょっと最新版のものなんであれですけど、
1:15:52	等々、
1:15:57	新木場どこ行ったかなあ。
1:16:00	俺、
1:16:07	あれすかね今、都市
1:16:09	て諸島地盤減衰は、
1:16:12	鉛直アレイの地震観測記録や氷近野幻想特性結果、
1:16:18	等の観測技術等々行っていて、
1:16:22	この観測塔みたいなのに、もう少しその文献レベルの話だとか、何か求人同定の話だとか、
1:16:30	そういうのが入って、
1:16:31	来る。
1:16:33	9
1:16:34	ているという意味で、ちょっとあんまりこう通っていっぱい対応すると。
1:16:39	なんだというところになってくるんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:42	これはだからまとめ資料の方に飛んでいくと、この等がそれぞれ何なの かっちゅうのは、
1:16:48	追えるようにはなっ
1:16:50	いいですか。
1:16:54	終わるのかな。
1:16:57	後ろのそうそうそう。
1:16:59	これそれぞれの想定、まとめ資料のどれですかって今聞けば、瞬時に 答えると思っていいですか、ちょっと。
1:17:06	それぞれ何か教えてもらっていいですか。
1:17:56	九州電力の本村です。
1:17:59	最初の頭はですね、これについては、
1:18:07	ない。
1:18:09	減衰測定もやってますけど、もともと資料として速度層断面とかで、地震 計設置位置より深いところは変わらないとかですねそういうところを示し てたので、そういうのも含めてとうとして、
1:18:22	観測事実等について、
1:18:25	すいません逆ですね。すいません地震観測記録や、ボーリング孔内減 衰測定結果等の等については、Q値だけじゃなくてVsVpとかも使って 伝達関数で、妥当性を欠く
1:18:39	運用してるのでPS検層結果、
1:18:41	も入ってる等ですね。
1:18:43	あと観測事実等の最後の等については、
1:18:47	さっき申しましたけども、地盤減衰について地震計で獲られたもの。
1:18:53	を保守的に 92.5 にしてるのを下まで持ってきて、深いところも、200 メー ターまで適用してるっていうところも、
1:19:00	あるのでそこら辺のところについては速度層断面も、
1:19:04	見てるというところもあるので、そういった頭が頭にしていると。
1:19:09	いうなど。
1:19:50	うん。
1:19:52	そう。松坂文献の話も出ていたはずなんですよね。
1:19:57	だし、これを、当然まとめ資料を、球児全体を、これまで議論して読ん で、上でのこの記載ならなんですけど、普通に読むと、
1:20:09	地盤減衰を、鉛直アレイの地震、地震観測記録って何かQ値出てくるん だっけ。
1:20:16	多分何か元にせ基づき設定するのところがあまり具体性がないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:22	何か地震観測記録だと何か給餌出てきてるんだっけと。
1:20:27	そのボーリング孔内減衰測定結果あ、確かに減衰測定結果えつと言ってるんだから、それは減衰値の設定になんか見えそうなもんだな。
1:20:36	あるんですけど。
1:20:38	うん。
1:20:39	ちょっとここをもう少しその基づきなんかどうやって設定してるのかは、もう少し具体的に書いた上で、
1:20:46	うん。ちょっとことを、
1:20:49	ていうところは何か今ちょっとせんってもう呼吸値を設定するときの頭なので、
1:20:55	速度層断面、
1:20:59	だからどうなのかなというとか何か観測事実だけじゃなくて何か文献の話かなと思って香田の当番で私は見てたんですけど。
1:21:06	ちょっとそこも、少しくまとめ資料その意味で何かもう少し適正化する必要があるんだったらまとめ資料の書きぶりっていうか冒頭の書きぶり
1:21:16	この申請書に通って書くのがこの等は何なんですっていうのがわかるような、書きぶりにするとかっていう、
1:21:23	ちょっとそこは整合するような工夫をしつつですね、もうちょっと高級地のところはですね、
1:21:32	具体的に何に基づいてどうやって設定したのか。
1:21:37	今からもう少し広げて書いてもらえますかね。
1:21:40	速度とかミズタもうこれ一速度構造とかは本当に、これ測った値と、
1:21:46	あとは文献でこう書かれてますみたいな、もうそっからダイレクトに持ってくれるようなものは別に、出店だけ書いておけばいいと。
1:21:56	ただし、具体的な検討を設定するようなものは、何を材料にどういう検討をして決めたのかっていう、
1:22:02	もしわかるように書いて、
1:22:07	うん。
1:22:08	ね。
1:22:09	地震基盤相当面はまあいいかで、ちょっとここで確認なんですけどねこれ、ここだと当然EL-1800メートルと設定してるっていうんですけど。
1:22:21	これが根津が、今日の庄野資料じゃなくてどっちだ。
1:22:26	8月17日付の方の、
1:22:29	資料で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:31	図が出ていて何ページですかねえ。
1:22:35	10、
1:22:36	ページ。
1:22:40	これはCなんですかね。いや、何か地下構造モデルの図ではなくて、あえて層厚図、
1:22:49	です、起点がなんか何メートルからかわからないけれども、何か層厚が書いてあって、
1:22:55	何か図表が載ってるんですかと、表を見ると、何か 1604 メートルと書いてあって、
1:23:03	うん。
1:23:04	ちょっとねえ。
1:23:06	これ多分もともとノー許可の時の地下構造も、
1:23:10	層厚で書いているんだと思うんですけど、ここで何か層厚で書くのかモデルで書くのかさらにそこはその隣に、
1:23:19	標高を書くのか。
1:23:22	これ何かこの層圧で書かないと、何かいけない問題でも何かあるんですけど、これ。
1:23:29	九州電力の本村です。層厚で、
1:23:33	書かないとまずいとかそういう話はちょっと全然ないんですけどももともと理論計算で書いてた、つく表を載せてたんですけども、確かにおっしゃる通り、
1:23:43	理論計算の時はいえる表示とか、
1:23:47	特にわかるようにする必要がなかったのでもちよと層厚だけを変えたというところがありますので、今回はちょっと、地震基盤相当面をELで、どこに設定しますという記載もありますので、
1:23:59	ちよといえるもちよと含めて、ちよと適正化したいと思い
1:24:13	そう。後ろに行くと、全くわからなくてですね。
1:24:19	これだから許可の時の地下構造モデルは非常にあっさりとした記載で、200 メートル以深での仙田のどこにいわゆる推本 2000 幾つを使ってるのかも何もわからないまま、
1:24:32	全体として何かこれ使ってますって書いてあるんで、
1:24:35	別紙後はね、多分実際使うのが理論計算なんで、あまり
1:24:39	そのまま別に層厚がわかってさえいれば放り込めるだろうという趣旨で書いてたと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:45	特に誤開放基盤とか地震基盤とかさらには深さによって設定根拠を変えたりとかですね。
1:24:53	出しているわけなんで、
1:24:56	どういう書き方、多田層厚も多分、その実際の解析に回す時にはこの争奪も使うんだとすると、そもそも残すんだったら、その泊に書くのかとか、
1:25:06	ね、ちょっとこう書いてある本文と、それから飛んでいく表図表ですよね。
1:25:11	なんかなんか全然違うおどれだとか、いうふうにならないよ。
1:25:15	してもらえますかということで、工夫をください。
1:25:22	はい。
1:25:24	あとわあ、次の 23 ページ。
1:25:30	これは、
1:25:32	もう、黄色く塗ったのこれ何でしたっけこれ。
1:25:37	九州電力のものが、すいませんちょっと説明の時にちょっと飛ばしてしまっておりまして申し訳ございません。
1:25:43	ここの記載ですけれどももともとの記載が黄色ハッチがついた部分が記載が長くない状態で書いておいたんですけれども、そうすると
1:25:54	2005 年福岡県西方沖地震の地表の位相を用い作成、作成、作成するという記載だけになってまして、どこの大きさどこの観測記録なのかというのがちょっとわからない。
1:26:06	んじゃないかというところで玄海原子力発電所の敷地でられたという記載、それから、当間より丁寧という観点で地方における地震観測記録と、
1:26:16	いう記載を追記していると、記載の充実をしている部分になります。
1:26:24	はい。わかりましたわかりました。
1:26:28	監査資料 3。
1:26:38	かなあ。
1:26:42	として、
1:26:46	ちょっと待ってね。
1:26:49	ふうん。
1:26:53	これ、あそうか、ちょっと待ってくださいね。
1:26:56	で言うと、そのあとだでここはいいと。
1:27:00	あと模擬地震はは遠い。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:06	解放基盤における、これから今震源特定せずの標準応答スペクトルの評価の中で、
1:27:13	値を乱数と観測と、
1:27:17	各市、
1:27:21	一応乱数のものを押す。
1:27:24	標準とスペクトルをコールした地震動に、
1:27:28	しますとって、これだからおんなじおんなじってわけじゃないんですけど、もう1回出てくるんですよ基準地震動の策定のところでもう、
1:27:42	これは、ここでは、
1:27:44	もうあれですかね一応乱数乾燥増の自助欄膝臓用いるっていうのは、
1:27:50	確定した上で28ページ、27ページ28ページかな設計用模擬地震が、
1:27:58	この辺の流れのところでは、
1:28:01	壊れるんですかね。ちょっと待ってあれどこ行ったっけ。
1:28:05	断層モデル。
1:28:13	これシンゲンと橋上とスペクトルの設計も切り紙側、
1:28:21	俺は、
1:28:27	放送モデル。
1:28:29	これは、
1:28:31	特定せずのな、特定せずの、
1:28:35	方で、
1:28:37	もう設定してるんで、
1:28:40	改めて基準地震動の策定のときに、僕自身はが出てくるのはこれSs湾だけっていう、
1:28:46	そういう仕切りですかね。
1:28:50	教えた。
1:29:11	いやガイド上は確かにその特定せずの評価の中に一応乱数なんか、複数の方法でどうやって書かれていて、
1:29:21	基準地震動の策定の時にその種アノ、
1:29:24	いわゆるそのモリ時間設定の話が書かれているのは、Ss案についてで、
1:29:29	確かに、どの段階で決めてるかって意味だと、これは特定せずの中で、
1:29:35	書いてあると。
1:29:37	そうですね。
1:29:38	一応これはやったプラクティスは限って、
1:29:44	あるのかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:47	重ねを据え、
1:29:52	どういう理由で、
1:29:55	一応乱数を選びましたというのは書いてあるか。
1:30:00	おい。
1:30:06	で、特定せずに 14 ページからすみませんまた戻ると、特定せずの地震動の設定。
1:30:16	か。
1:30:18	観測記録収集を得て、
1:30:30	で、
1:30:32	収集を踏まえ、
1:30:40	そうするとちょっと待てよ。
1:30:49	これ、麻生。
1:30:50	今そうすと標準応答スペクトルのUD自動評価なり、
1:30:56	あと留萌もそうなんですけど、
1:30:58	宗上田市としては敷地近傍の、
1:31:01	震源近傍の地震観測記録の収集っていう表題の中で、
1:31:06	ですかね、今みたいな
1:31:09	ものを書くのこれ、他サイトどうしてるのかな。
1:31:16	ちょっと待ってよ。
1:31:18	タイトルとしてだから今やってるようなところも含めて、
1:31:21	震源近傍の観測記録の収集っていうことになるのか。
1:31:27	本当たいし、ガイドだと確かに検討対象地震の選定、
1:31:34	震源近傍の観測記録の収集か。
1:31:47	そのあとに応答スペクトル地震動レベルの設定と妥当性確認みたいな形になっているので、
1:31:54	何か表題だと何か記録の収集ってなってるんだけど、やってることは何か記録。
1:32:00	もう収集の後のことも書いてあるので、
1:32:07	ちょっとこの辺は名前は工夫できるならば適正化してくださいぐらいかな。
1:32:13	はい。
1:32:17	いや、ちょっと待ってくださいねこれでまた 24 ページに戻ると。
1:32:21	カトウが消えて、
1:32:25	として、鳥取県西部留萌標準を通すべき取らせ
1:32:30	調べます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:32	ここの特定せずの、
1:32:35	この超過確率の参照というタイトルで書いてあった部分は、次原子力学会 2007 との比較だけが残りますと、はい。
1:32:43	で、25 ページ目。
1:32:46	設計用応答。
1:32:49	スペクトル。
1:32:54	で、7563 が設計用応答スペクトルで、
1:33:00	その(1)が、
1:33:02	震源を特定して(2)が特定せずですよ。これも
1:33:10	ここの表題で言ってる設計用応答スペクトルって、何かこの後を見ていくとSs湾の、
1:33:17	ことを指してるようにも思えるんですけど。
1:33:21	この設計を藤スペクトルなかなか見ていくとね断層モデルだったり特定せずの話もあったりして、
1:33:30	ここは何もっと大きい表題が基準地震動だから、あまり基準地震動というふうには書けなかったっちゃうことなんですかねこれ。
1:34:21	いや、何か普段まとめ資料とかで聞くんだったら基準地震動の策定っていう項目として説明を
1:34:27	聞いているような、
1:34:29	部分で何か設計応答スペクトルっていうと、
1:34:33	これっすあれSS。
1:34:35	なんですよ多分その下の(1)aポツを見ると、
1:34:39	応答スペクトルに基づく地震動評価による基準地震動を策定するにあたり設計応答スペクトルを設定する。
1:34:48	それはいわゆる何か、
1:34:53	各応答スペクトルの結果を包絡して、
1:34:57	作りましたっていう何か、その部分に対する表題であって、
1:35:02	何か断層モデルの話とかもね、
1:35:05	含めて、
1:35:06	これはあくまで精査の設計応答スペクトルを比較して、断層モデルを選びますという話で、
1:35:13	コア。
1:35:15	何かちょっと号炉 7563 の表題と、
1:35:18	その下に書いてあることとなっていない気がするし、基準地震動の策定みたいな表題って多分ほかで使っ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:26	出ない。
1:35:27	バッティングしないじゃないかと思いますが、ちょっとここもなお、
1:35:32	と中身をあらわすように
1:35:34	今回、さらにその標準応答スペクトルも入って別にあれを設計応答スペクトルと言っていないので、
1:35:41	中身はね、別にいいですけど、
1:35:43	B没Aが特定してで、(1)が特定してそのうちAポツBポツで分けると、はい。
1:35:55	この中身は変わらないんで図がずれました。
1:36:01	(2)特定せずで 20
1:36:05	7、6-3 から 20。
1:36:07	これが、
1:36:08	SSは
1:36:15	の比較をして、
1:36:19	一部集計はもあるので選びます。
1:36:26	それぞれで、
1:36:28	最後に、
1:36:33	麻生家もともと留萌と、
1:36:36	取手西部及びでつないでいたわけじゃないからここでもいいんだな諸室は、及び標準をとすべきと冷静するオクとして選定するとはい。
1:36:46	7564、設計用模擬地震は、
1:36:58	今これはSsを、はい。
1:37:02	得る。
1:37:05	SSワンと、はい。
1:37:09	この模擬地震はといってノダ 2002 でやりましょう。これも変わらないですね。
1:37:15	炭素モデルを用い、
1:37:19	はい。
1:37:19	震源を特定せず、
1:37:25	ああ。
1:37:27	ここはもう特定せずの評価のところすでにやっていた擾乱数の方の、
1:37:32	事務技師神青をここに持ってくる。
1:37:36	ここで呼び込むだけ。
1:37:38	はい。
1:37:39	超過確率の参照はこれは特定してもひっくるめて、もう 1 回出てくる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:45	はい。
1:37:49	はい。ちょっと細かい文献のところとかは、
1:37:53	どう、
1:37:54	ちょっと特にやっぱり今回 1 バーン基準適合の審査の中で、
1:38:01	一番、説明、議論なりも多かったちょっと地下構造のところですよねちょっと書く場所も然ることながら、さることながらですね。
1:38:10	特にその減衰値の設定の部分とあとはその全体としての妥当性ですよね。
1:38:16	その部分はちょっと少なくともそこはテンロクにはっきりと書いてもらわないと。
1:38:21	それをもとに我々、審査結果、
1:38:24	がまとまるとしてですね。
1:38:26	したときにそういうところを書けない。
1:38:30	まとめ資料には書いてあって介護で確かに聞いてはいるんですけど、
1:38:33	基本的にはやっぱり、6 申請書に書いてあるものをベースに判断して、
1:38:39	さらにより詳しい情報というところでまとめ資料を見ていくので、
1:38:45	まず先にですね補正の方の話というかをしました。あとは、
1:38:50	まとめ資料ちょっと細かいところはですねえ、骨子すいません地盤斜面とか他の方優先したんで、全部全部細かくは見てないんですけど、
1:39:00	この時、
1:39:01	地下構造で深度のところっていう以前に、多分地盤斜面とかも含めて、今回のその申請、
1:39:09	何で標準応答スペクトルの追加とかあとは記載をね、整理したような部分もあるんですけど、今回のその申請
1:39:17	いわゆる地下構造の話だったり、地震動評価の話だったり、もしかしたらね地下構造をまとめますって話もあると。
1:39:24	地盤斜面もあるし、場合によってこの長期評価で何かあるんだっただけですけど、
1:39:29	ちょっと今回の申請概要というか、
1:39:32	実は、
1:39:33	これ申請の直後にも多分申請外は聞いてるんですけど多分その時には、
1:39:40	当然標準応答スペクトルのその部分のところのみで行ってみるとその地盤斜面で、こないだあったように、いやここは評価が変わらないんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:49	いや調査結果は変わらない、調査結果新しいものがないんで評価が変わらないんで、別に基準適合変わりません。
1:39:56	で見ると多分
1:39:58	地盤斜面ガイドだと一応変位もあるんですけど多分変位みたいなものも多分これ敷地の地質地質構造の評価に違いがないので、
1:40:05	これは当然新しくに断層があるわけじゃないから、変わりませんか、
1:40:11	全体として、全体の
1:40:15	概要どこどこに変わっては、変わらないのでっていう
1:40:19	当然津波もね、アノ町協会で何もなければ変わらないし何かあれわかる。
1:40:25	火山は何も変わりませんね。
1:40:27	いうところでちょっと地震津波関係の部分での、ここは変わる変わらないっていうのを、ほぼ当然今まで議論して、してないところは変わらないわけなんです
1:40:38	あとそういうその全体の、
1:40:40	今回の申請の高性能として何が変わったっていう、従ってこの地震動の説明と地盤斜面説明してるわけ。
1:40:51	1個1個の何かまとめ資料のね刊本版とか何か
1:40:54	きりがいい、きりがいいとかすぐは多分できないと思うので、まずそういう話とともに、あとはこの地震動とか地盤斜面も含めて、
1:41:03	概要版ってつくれます。
1:41:06	当然ながら御社もこう、概要版。
1:41:09	今だと、
1:41:10	概要版といういえるものが、
1:41:14	なく、
1:41:14	いわゆるテンロクに書いてあって当然、御社がテンロク食うでコアとして説明している。当然我々はさっき言うて、
1:41:23	確認した部分とか、
1:41:25	それを全社もう、いわゆる対外的にですよ例えばプレスレイクをされたりとか、
1:41:31	県、地元のね専門とか、海田
1:41:34	説明されたりとか、
1:41:35	我々は審査会合で、非常に濃い×資料でももちろん説明聞いてるんですけど、
1:41:41	概要で十分15分で説明してくださいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:44	言われるような時に、
1:41:46	どう、どういう資料で説明しますかっていうことで、ちょっと概要版をですね、作って
1:41:53	ください。
1:41:55	ちょっと今は、当然地震動
1:41:58	の、これ今、話で地盤斜面はね今、いわゆる補正の
1:42:02	反映案とかっていうのは作られてると思うんで、ちょっと今すぐに概要版って意味じゃないですけど、
1:42:09	ちょっと次ですかね地盤斜面をまとめてお持ちになるときには、ちょっと概要版。
1:42:14	やっぱ 10 分 15 分で説明するとしたらどう。
1:42:18	今回申請さ
1:42:21	っていうのを、ちょっとそこはそれをつけて、
1:42:24	です。中身のその意味での概要と、あとは
1:42:28	今回の申請でどこはいじらないって意味では、
1:42:31	お 1 人のホシトリ版っていう
1:42:33	ていうところはつけておいてください。地震動としては今まとめはこれなんで、
1:42:39	そういう申請概要みたいなところですね。
1:42:45	そこをまず、ベッドでつけていただくというのとあわせてですね、ちょっと補正の検討と併せてそれを、
1:42:52	くださいと。
1:42:56	すいません。
1:42:58	ちょっと今なので、こつと今後ですね、コアになってくるちょっと補正の方の話先にしましたけども、
1:43:06	これちょっとこのもう少し補正、
1:43:09	もう 1 回ちょっと文言はもんでいただくので、ちょっと細かい点にをはとか改めてですねもう 1 回見させてもらいますけど。
1:43:16	あの段階で何か補正のところで注文つけておくとか確認しておく
1:43:21	何かありますでしょうか。大丈夫です
1:43:24	まとめというのは、
1:43:27	はい。規制庁佐口です。
1:43:30	何て言うんですかね。私が、
1:43:34	見さしていただいて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:36	これちょっと細かいですね、書きぶりというか記載の話になってしまうか もしれませんけども、
1:43:43	1点ですね、ちょっと本当にこれ、
1:43:46	申請、
1:43:48	なりまとめで、
1:43:51	適切かなというところなんで
1:43:54	これ、今日の資料の方がいいのかな。
1:43:58	例えば 22 ページで、
1:44:01	新審査
1:44:03	追加補補足説明資料、22 ページ。
1:44:06	まとめ資料だと、
1:44:09	まとめ資料だと 12 ページ。
1:44:12	以降そうなんですけど、これですね。
1:44:15	企業間の地下構造モデル。
1:44:18	特にそのマイナス。
1:44:20	200 メーター以深とかあと速度構造とか、この辺りを、
1:44:25	地下構造モデル流用って書かれてるんですよ。
1:44:28	根井。
1:44:29	そうじゃなくって、どういう結局地下構造モデル。
1:44:34	にするのか今回のっていう位置付けっていうのを最初の方に、
1:44:37	少し確認ありましたけど、それ以下にもよるかもしれないんで、
1:44:42	もう、
1:44:43	そうでない、あくまでも今回のその標準応答スペクトルを考慮した地震 動に用いる地下構造モデル
1:44:50	を設定するにあたっては、
1:44:54	この深いところとか速度構造っていうのは、その妥当性を改めて、
1:44:59	確認を。
1:45:01	してですね。
1:45:02	要はその短周期のところも含めて使えるんだよ。
1:45:06	いうことを確認した上で、
1:45:09	だから結局、既許可のこの地下構造モデルと同じ設定にするという、
1:45:15	そういう話じゃなかったでしたっけっていう、いう。
1:45:18	ところなんです
1:45:19	ただいまそれなんか流用してっていうと、何か特に何もなくて、もう休 暇でこれ設定したからもうそのまま使えばいいでしょう的な。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:28	なんかそういうイメージが私はそういうふうにするので、
1:45:32	実際にはそうじゃなくてちゃんと、
1:45:34	使えるんですよという妥当性を確認した上で、だから同じ設定でいいんですよというそういうご説明だったと私はちょっと理解してたんですけど。
1:45:44	だからそういう意味で、ちょっと流用という言葉が、
1:45:48	他のちょっとサイトウも含めてこの流用っていう文言が、
1:45:52	うん、申請書上とかもあるのかなとか思ってそこ私は全部の申請書を見ているわけではないんですけど、
1:46:00	ちょっとそこはもう一度、
1:46:02	確認をしてですね、実際に今回
1:46:07	地下構造モデルの設定にあたって、
1:46:09	やったことも含めてです
1:46:11	本当にちゃんと適正かどうかっていうのを確認していただき、
1:46:16	はい九州電力の本村です。
1:46:20	前に鈴木さんの方からも、流用という言葉の話もありましたので、佐口さんのコメント、いただいたコメントを踏まえまして、ちょっと、
1:46:30	記載を検討したいと思い
1:46:36	はい。佐口です。で、
1:46:38	ちょっと今後ですね多分、いろいろここ、今日確認事項なんかを踏まえてまたさらに、
1:46:45	確認されて、記載の修正なり適正化をされると思うんですけども、あくまでもこれは私が、
1:46:53	どうかなと気づいたところで、もちろん
1:46:57	既許可の時の申請書、
1:47:01	という。
1:47:02	との関係もあると思うんですけど、
1:47:05	やっぱり一番、
1:47:09	強く感じたのはちょっとスズキからありましたけど例えばその 22 ページ目以降で今回のその標準応答スペクトルはこういうふうに
1:47:20	検討しましたっていうところが一連でザーッと書かれているっていうのはどう、どうなのかやっぱり、わかりやすさの観点から言えば、ちょっと小項目も用いるなりは、
1:47:30	やっぱりすべきかなと。
1:47:32	思いますし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:37	あとですね、ごめんなさいやっぱりこれは既許可の申請書の関係もあると思うんですけど、
1:47:44	一番気になったのは、24 ページで言うところの一番上ですね震源を特定せず策定する地震動の設定というところで、
1:47:57	(2)を踏まえてって書かれてますけど、
1:48:01	定せず策定する地震動として、もういきなり 2000 年鳥取県西部を考慮した地震と、
1:48:07	それから留萌の地震と、
1:48:09	標準応答スペクトルこう地震動設定す
1:48:12	いや、言いたいことはわかるんですけど、そもそもこの三つってどれですかっていう話なんですよ。
1:48:17	すぐその前に、
1:48:19	辛うじて標準応答スペクトルに関しては、
1:48:24	23 ページの一番最後に、辛うじて標準応答スペクトルを考慮した地震動として選定するという文言があるので、これなんだなと。
1:48:33	わかるんですけど、
1:48:34	その一方で、
1:48:36	留萌
1:48:38	部門オオイワ 21 ページ。
1:48:41	21 ページに、いろいろ書いてあるんですけど、
1:48:45	この会合基盤はさらに不確かさ、
1:48:48	2、この解放基盤版にさらに不確かさを考慮した上で地震動を設定す
1:48:53	地震動を設定するのはいいんですけど、
1:48:57	この 2004 年留萌の
1:49:00	地震動というのは結局どれなんですかっていう
1:49:03	前を見てくださってっていう話かもしれないですけどね。
1:49:06	で、
1:49:07	そのさらに前に行きますね 20 ページ。
1:49:10	鳥取県西部、
1:49:13	野地進藤ってどれなんですか。
1:49:15	多分 20 ページの下から 1、
1:49:17	234 ページ目ぐらいにあるような、
1:49:19	過剰ダムの地震観測記録を、
1:49:22	ス様基盤、
1:49:23	表面相当の地震動として扱う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:27	うん。扱うのはいいんですけど、結局、
1:49:29	どれなんですか、っていうところ、この紐づけじゃないんですけど、これ言葉をこう付け加えるだけかもしれないですけどね。
1:49:37	こうこうこういうものを、
1:49:39	例えば 2000 年鳥取県西部を、
1:49:41	地震を考慮した地震動として設定するとか、
1:49:45	それはだから既許可のその書きぶりもあると思うので、ちょっとそのあたりを直す必要があるかどうかはあるんですけど、
1:49:52	ちょっと関係が、今心
1:49:55	生所だけを見ると、
1:49:58	わからない。
1:49:59	というですね。
1:50:00	当然、図を見て、これをそうするんだろうなとはわかるんですけど、そのずっと文言の位置とか、
1:50:06	そういうところですね。
1:50:08	ちょっと今回
1:50:10	記載の適正化っていうのは幾つも多分あると思うんですけどそれをどこまでするかっていうのは当然お任せしますが、
1:50:20	そういうところがどうかっていうのと、
1:50:22	先ほどちょっとスズキから入れましたように最後のところですね。
1:50:25	結局その、
1:50:27	表んせ
1:50:29	てよう、
1:50:31	応答スペクトルとか設計用模擬地震が、
1:50:37	いうタイトルがあって、
1:50:40	そのタイトルってこれ設計用って、
1:50:42	これS1 だけの話じゃ。
1:50:44	ないんですかっていう
1:50:46	でも中身に書かれてるのは実は基準地震動は、
1:50:49	これこれでどう、どうって書かれていて、
1:50:54	ましてやさ、最後のその 20、
1:50:58	7 ページの設計を模擬地震あってこれって、
1:51:00	Ss1 ですよね。
1:51:03	Ss1 は、いわゆる継続時間どれぐらいにして、いやそれはこういう根拠でマグニチュードが行く

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:11	装荷震源距離の幾つでとか、
1:51:13	そう、そういうところから、こういう地震を設定しますっていうだけの話なんですけど、でもそうじゃなくて書かれてることは、あくまでもこれ基準地震動
1:51:23	基準地震動の最後のところですよ、時刻歴はKというだけですよこれ。
1:51:31	違います。
1:51:32	何かその辺りのちょっと関係性。
1:51:35	本当にタイトルと書かれている内容が一致しているのかどうか
1:51:41	というところで、
1:51:43	ちょっとて丁寧さがどうかなっていうのが、
1:51:47	ごめんなさいこれ感想的。
1:51:49	みたいになっちゃう。
1:51:51	けど、
1:51:52	その辺は考慮していただいて、もう少し記載を適正化を
1:51:57	していただければと思いますんで、
1:52:01	どこまでするかってのは当然、
1:52:03	お任せしますけど、そこはよろしく願います
1:52:06	はい。九州電力の本村です。特定せずの三つの地震の話。それとあと、
1:52:12	後ろの方も、設計応答スペクトル模擬地震は、のところです。ちょっとタイトルと内容が合っていないところがありますので、ちょっとそこら辺は、
1:52:21	検討したいと思い
1:52:35	はい。
1:52:37	これよろしいですか。
1:52:44	はい。
1:52:45	そしたらば、
1:52:48	まとめ資料と、まとめ資料でこれまで議論してきた内容ですかねまとめ資料というか会合できるわけ内容を、
1:52:56	仮にその申請書レベルの文言でにをは落とすとこんな感じになります。
1:53:03	補足ですね。
1:53:04	については一旦御説明脇
1:53:07	ということで、中身としてですね、これまで会合で議論してきた内容と、この補足。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:14	資料追加補足説明資料ですか。ここで何か大きないやこんなこと全く聞いてなかったじゃないかというようなそういう内容ではないのは、
1:53:22	ということで、ちょっともう少し申請書上どこに地下構造の話を書くだとかですね、あとはやっぱり基準適応上重要になってくる部分の設定考え方根拠とか、
1:53:34	もう少し書いて、特に地下構造の部分ですね。
1:53:37	フクダとか、あとはちょっと、一部、構成ですかね、全国共通みたいな形で、基準ガイドの構成が変わったことによって適正化する部分も、
1:53:48	ちょっとそれによって何か表題と中身とかがずれてない。
1:53:52	この辺も含めてもう少し検討いただければと思います。
1:53:56	特になければ、一旦これで今後はどうですかこれ地盤斜面の、
1:54:04	ものとセットで持つ
1:54:08	てくるのか、ちょっとちょっと地下構造の置き場所。
1:54:12	について何か話もう一度説明をということであれば別にそれを切り出して早めにねこれの2回目があっても、
1:54:21	別にこれ2回3回と
1:54:23	補正申請まで、
1:54:25	行くまであれでもいいですけど、
1:54:28	ちょっと地盤斜面とセットで持ってくるんだったらその時でもいいですし、ちょっとそこら辺は社内で持ち帰って、
1:54:36	地下構造の置き場をどうするかということも含めて検討をして、またご連絡いただければ、ヒアリングを申し込んでいただければと思います。
1:54:45	よろしければ、
1:54:47	ようにしますが、
1:54:50	よろしいですか特に本店の方を含めて九州電力何から何か確認ありますか、ないです
1:54:56	以上で終了したいと思いますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。